

■ □ -----

日本ナレッジ・マネジメント学会

メールマガジン 第 145 号 2022/04/12

----- □ ■ ■

【ご案内】今号より試行的に PDF 版のご提供を開始いたします。リンクはこちらです ↓

http://www.kmsj.org/wp/wp-content/uploads/2022/04/145_0.pdf

■■ 目 次 ■■

- ◆ 第 25 回年次会員総会のご案内
- ◆ 学会誌第 21 号投稿の募集案内
- ◆ リレーエッセイ
- ◆ 本学会事務局からのご案内
- ◆ 編集後記

=====

- ◆ 第 25 回年次会員総会のご案内
(本学会会長 一條和生)

新型コロナウイルスの影響未だ続き、会員の皆さまに置かれましては、
引き続きご自身とご家族、周囲の方々の身を守る行動をされているものと思います。
当学会では、この状況を鑑み、今年度もオンラインにて総会を実施することと致します。
日時：2022 年 5 月 28 日（土曜日）10：00～12：00（zoom オープン 9:30）
場所：オンライン（Zoom ミーティング）
お申込みは Peatix で!! 下記 URL からお入りください。

<https://kmsj20220528.peatix.com/>

<議題> 一條会長による 2022 年度活動方針の発表、未来志向によるフューチャーセッション。
議案は以下の通りです。

- 第 1 号議案 第 24 期(令和 3 年度)活動報告及び決算報告案承認の件
- 第 2 号議案 第 24 期(令和 3 年度)会計監査報告の件
- 第 3 号議案 第 25 期(令和 4 年度)活動計画及び予算案承認の件

【フューチャーセッション】

- ・企業におけるナレッジ活用と、活用を支援する当社の取り組み 村上理事
- ・法人会員参加の目的、実践上の課題 田村理事
- ・ナレッジマネジメントを実務に適用する際の課題に対する解決案、意見交換（ブレイクアウトセッション）

上記のように第一報をお知らせいたします。HPにて詳細情報を追加する運びとなります。
会員の皆様におかれましてはお早目に Peatix でお申込みください。

=====

◆学会誌第 21 号投稿の募集案内
(『ナレッジ・マネジメント研究』編集委員会)

学会誌第 21 号の投稿（論文、研究ノート、ケーススタディ）を募集致します。
原稿のページ数は 10 頁～14 頁とします。特に企業人、研究者の会員各位による
実践事例に関するケーススタディの投稿を歓迎します。
なお、第 18 号から、事例研究についての投稿は原則としてケーススタディに
分類して頂いております（応募の際に「ケーススタディ」と明記して下さい）。

応募に際しては、本学会誌の投稿規程と執筆要項をご覧ください。

『ナレッジ・マネジメント研究』投稿規程

http://www.kmsj.org/wp/wp-content/uploads/2019/06/124_4.pdf

『ナレッジ・マネジメント研究』執筆要項

http://www.kmsj.org/wp/wp-content/uploads/2019/06/124_3.pdf

締切： 2022 年 11 月 30 日（水）必着でメール添付ファイルにて送付してください。

送付先： 日本ナレッジ・マネジメント学会事務局 学会誌編集委員会 宛

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F 国際ビジネス研究センター 内

E-mail : kmsj@ibi-japan.co.jp

=====

◆リレーエッセイ

社内 DX を知識創造モデルで説明してみる

(日本電気株式会社 八田光啓)

アタックスグループ代表パートナーの西浦さんからメルマガリレーのバトンを受け取りました。ありがとうございます。

当学会は産学一体となって活動していることが大きな特徴だと思っています。

そこで、私なりに企業内での知識創造と活用について共有させていただけたらと思います。

<自己紹介>

まず、はじめに自己紹介をさせていただきます。

私は、東京都港区にある日本電気株式会社（NEC）に勤めております。

わたしが入社したころは、NEC は、C&C (Computure & Communication)をスローガンに掲げておりました。

それに惹かれて入社したら、本当にコンピュータもネットワークも担当することになっていきました。

最初に配属されたのは、地方自治体様向けのシステムの営業部門でした。

図書館の資料の予約・貸出のシステムを担当しました。その後、企業内の PBX（電話交換機）

やリモートワーク環境の提案、海外現地法人与自然連携するための予算や実績管理システムや、

コミュニケーションインフラである SNS の立ち上げなどを経て、

現在は、社内のデータ活用とデータドリブン経営の推進を担当しています。

(以降全文は、次の URL からお読みいただけます)

http://www.kmsj.org/wp/wp-content/uploads/2022/04/145_1.pdf

=====

◆本学会事務局からのご案内◆

当学会の 2021 年度年会費（2022 年 3 月末まで）のお振込みがお済でない方は、
下記の振込口座に至急お名前・ご所属を明記の上お願いいたします。

学会 2021 年度の年会費をお振込みされる方は、下記の学会の口座にお支払をお願い致します。
個人会員年会費の金額は 8,000 円です。

1. 銀行口座：口座人名「日本ナレッジ・マネジメント学会」
ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキユウ）店
当座預金 口座番号 0392470
2. 郵便振替口座：加入者名「日本ナレッジ・マネジメント学会」
口座記号・口座番号 00190 - 4 - 392470

住所・連絡先メール等で変更のある方は至急事務局にメールでお知らせ下さい。

当学会へのお問い合わせ・連絡先：

日本ナレッジ・マネジメント学会事務局リエゾンオフィス

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F 国際ビジネス研究センター 内

電話：03-5273-0473 E-mail：kmsj@ibi-japan.co.jp

当学会への新規入会申込みは、下記の当学会 HP の入会案内欄をご覧頂きて、

入会申込みフォームに記入・押印のうえ、当学会事務局に送付願います。

(個人入会申込みには原則として紹介者が必要ですが、不在の場合は学会事務局ないし研究部会長にご相談願います。)

<http://www.kmsj.org/intro/page-30>

※ブローチャーはこちら

※<http://www.kmsj.org/wp/wp-content/uploads/2020/08/202008Brochure.pdf>

=====

◆編集後記◆

早いもので東京の桜はすでに盛りを過ぎ、葉桜になりつつあります。皆様にはいかがお過ごしでしょうか？

今回のメルマガでは、会員総会のお知らせをいたしました。万障お繰り合わせの上、お越しくださいますようお願い致します。

(オンライン開催です。Peatix お申込み、お待ちしております！！)

また今号から、PDF 版も合わせてご提供することにいたしました。

テキストにて構成しているメルマガですので、読者の皆様のお読みになるデバイスによって、折り返し幅が可変しますので読みやすさを鑑みて、試行的に PDF でも発行してみることにしました。

一方、テキスト版に慣れ親しんでくださっている層のお声もあり、暫くの間はハイブリッドでご提供いたします。読みやすい方、でお読みいただけたら幸いです。

さて、次号は 6 月に発行する予定です。

第 146 号の投稿原稿の締め切りは 5 月 31 日(水)とさせていただきます。

投稿を希望される場合は、原稿を作成のうえ、下記のガイドラインに沿ってメール送付願います。

【送付先】

編集担当（広報チーム）宛て publicity@kmsj.org

※オペレーション改善の観点から、メールでのご送付に加えまして

学会理事・幹事からの原稿依頼については、当学会 Slack での内部情報共有もお願いしたいと思います。

（外部の皆様からの依頼につきましては、従来どおりメールのみで結構です）

【メルマガ掲載希望原稿の依頼の方法・投稿のガイドライン】

・ご送付頂いた原稿をそのまま使用致します。

（但しレイアウト等を全体の編集で調整する場合があります。）

・「本文」に加えメルマガ目次に使用するための「タイトル」を示し、

参考情報等は、ハイパーリンクを埋め込むか、或いはファイル添付にて送付願います。

・締め切り期日厳守願います。締め切り期限を過ぎた場合は、編集の都合で掲載出来ませんのでご了承下さい。

・基本的に、締め切り後の原稿修正および発行後の記事訂正には応じかねます。

以上



日本ナレッジ・マネジメント学会

目まぐるしい環境やニーズの変化に対応するため人間のナレッジをいかに有効に役立てていくか理論体系を確立し、その体系について世界各国と交流を深めていくことを目的としています。